

大津市がん対策推進基本計画

概要版

がんを知り、がんと向き合い、
がんとともに暮らせるまちづくり



平成29年6月

大津市

策定の目的

全国において悪性新生物（がん）は、昭和 56 年より死因の第 1 位となっており、現在では年間 30 万人以上の国民ががんにより死亡している現状があります。

こうしたことから、平成 19 年には「がん対策基本法」が施行され、国をはじめ、都道府県を中心にがん対策を総合的かつ計画的に推進するための取り組みが進められています。

こうした動きにあわせ、本市においてもより一層がん対策に取り組んでいくために、平成 28 年 4 月に「大津市がん対策推進条例」を施行しました。そしてこの条例に基づき、市民、保健医療関係者、事業者及び教育関係者などがそれぞれの役割を持ち協働のもとで、がんの予防及び早期発見の推進をはじめ、療養生活の質的向上及びがん患者とその家族への支援などのがん対策について、総合的かつ計画的に推進するために、本計画を策定しました。

計画の性格と位置づけ

本計画は、「大津市がん対策推進条例」に基づき策定し、本市の健康増進計画である「健康おおつ 21（第 2 次）」の関連計画として位置づけます。また、策定に際しては、国の「がん対策推進基本計画」「滋賀県がん対策推進計画」等との整合性を図るものとします。

計画の期間

本計画の計画期間は、平成 29 年度から平成 36 年度までの 8 か年とし、平成 33 年度に中間評価を行います。

目標の達成状況や社会情勢の変化等に応じ適宜見直しを行い、効果的な施策を展開していきます。



計画の基本理念

がんを知り、がんと向き合い、 がんとともに暮らせるまちづくり

市民をはじめ、がんに携わる保健医療関係者、企業などの事業者、教育機関、NPO 法人などの地域の関係機関・団体、行政など、地域の誰もががんと向き合い、互いに支え合い、連携しながら保健・医療・福祉などがんに関するサービスや支援を充実していくことが肝心です。

こうしたそれぞれの役割による協働のもと、誰もが安心して暮らせるまちをめざし、これからのがん対策を推進します。

計画の体系

基本理念

基本目標

施策の体系

がんを知り、
がんと向き合い、
がんとともに暮らせるまちづくり

1 がん予防の推進

- (1)がんに関する知識の普及
- (2)生活習慣の改善によるがん予防の取り組みの推進
- (3)受動喫煙の防止

2 がんの早期発見の
推進

- (1)がん検診の受診率の向上
- (2)がん検診の質の向上

3 がん医療の充実と療養
生活の質的向上

- (1)がん医療の充実と医療従事者等の育成支援
- (2)在宅医療の推進
- (3)緩和ケアの充実

4 がん患者とその家族
への支援の充実

- (1)情報提供と相談支援の充実
- (2)がん患者とその家族の生活支援

5 働く世代へのがん対策
の充実

- (1)市内事業所及び保険者等との連携によるがん対策の充実

1 がん予防の推進

1 がんに関する知識の普及

施策の方向と主な成果指標

- がんに関する正しい知識の普及
- がんの種類ごとの正しい知識の普及
- がんの発生リスクやがん予防についての知識の普及

指標項目	現状値	目標値 (H36)
「多くのがんは早期発見により治癒が可能である」ことを認識している人の割合	58.5% (H28)	70.0%

2 生活習慣の改善によるがん予防の取り組みの推進

施策の方向と主な成果指標

- 生活習慣の改善によるがん予防についての正しい知識の普及
- 生活習慣の改善によるがん予防の取り組みの推進
- 禁煙希望者への支援の推進

指標項目		現状値	目標値 (H36)
食塩の摂取量の減少	20歳以上男性	11.3g (H27)	8g 未満
	20歳以上女性	9.7g (H27)	7g 未満
運動習慣者の割合の増加	20～64歳男性	25.9% (H27)	28%以上
	20～64歳女性	23.1% (H27)	27%以上
成人の喫煙率の減少	男性	24.5% (H27)	18.8%
	女性	2.6% (H27)	1.8%

3 受動喫煙の防止

施策の方向と主な成果指標

- 受動喫煙防止対策のさらなる推進

指標項目		現状値	目標値 (H36)
受動喫煙の機会を有する者の割合の減少	家庭	6.8% (H27)	3%
	職場	38.5% (H27)	0%
	飲食店	49.4% (H27)	15.0%

がん予防の推進に向けた主な取り組み

市民

がんに関する認識を深め、自らの生活習慣を見直します。

保健医療関係者

がんの発生リスクや予防に関する情報を提供し、セルフチェックの方法を市民に普及します。

事業者

がんの発生リスクや予防に関する情報を従業員に提供し、生活習慣改善に取り組みやすい職場環境を整えます。

教育関係者

がんに関する教育を行います。

地域団体

市民の生活習慣改善のための啓発や支援を行います。

市

あらゆる機会をとらえ、がんの正しい知識の普及啓発を行います。

2 がんの早期発見の推進

1 がん検診の受診率の向上

施策の方向と主な成果指標

- がん検診の目的や重要性に関する正しい知識の普及
- がん検診の種類や受診方法についての情報の普及
- がん検診を受けやすい環境の整備

指標項目		現状値	目標値 (H36)
がん検診の受診率の向上 (大津市の検診、職場検診、人間ドック等を含むがん検診受診率)	胃がん検診	53.4% (H28)	60%
	肺がん検診	51.6% (H28)	70%
	大腸がん検診	58.7% (H28)	70%
	子宮頸がん検診	47.9% (H28)	60%
	乳がん検診	47.4% (H28)	60%

2 がん検診の質の向上

施策の方向と主な成果指標

- 精密検査の必要性についての周知
- がん検診の結果、要精密検査となった者への精密検査の受診促進
- がん検診指針を踏まえた科学的根拠に基づく質の高い検診の実施
- がん検診のモニタリングと精度の向上

指標項目		現状値	目標値 (H36)
がん検診精密検査受診率の向上	胃がん検診	89.8% (H26)	100%
	肺がん検診	88.8% (H26)	100%
	大腸がん検診	80.7% (H26)	100%
	子宮頸がん検診	91.1% (H26)	100%
	乳がん検診	94.6% (H26)	100%

がんの早期発見の推進に向けた主な取り組み

市民

がん検診の目的や重要性を認識し、継続的にがん検診を受診します。また精密検査が必要になった場合は、速やかに精密検査を受診します。

保健医療関係者

がん検診の継続受診につながるよう周知・啓発し、また精密検査対象者には検査を受けるよう促します。

事業者

従業員へがん検診の受診勧奨に努めます。また、精密検査が必要になった場合は、精密検査の受診につなげます。

教育関係者

高等教育機関の学生に対して、子宮頸がん検診の情報提供に努めます。

地域団体

がん検診受診の重要性を伝え、受診勧奨を行います。

市

大津市のがん検診の情報提供を行うなど受診率の向上に努めます。また、精密検査対象者に対して、精密検査の受診を促進します。

3 がん医療の充実と療養生活の質的向上

1 がん医療の充実と医療従事者等の育成支援

施策の方向と主な成果指標

- がんに関する医療機関やクリティカルパスの周知
- 県や医療機関などとの連携によるがん医療の充実
- 小児がん患者が速やかに適切な治療を受けられるための関係機関との連携の充実
- がん医療に関わる人材の確保
- 医療機関（病院・診療所）のがん医療に係る医療機能に関する情報提供（大津市がん医療マップの作成）

指標項目	現状値	目標値（H36）
がん診療連携拠点病院・支援病院における専門的なメディカルスタッフの増加	45人（H28）	54人

2 在宅医療の推進

施策の方向と主な成果指標

- スムーズな移行に向けての病院との連携の強化
- 在宅療養を支援するための多職種連携の強化
- 在宅療養の仕組みについての情報提供

指標項目	現状値	目標値（H36）
在宅医療の利用者数の増加	1,793人（H28）	2,900人

3 緩和ケアの充実

施策の方向と主な成果指標

- 緩和ケアの意義や必要性の周知・啓発
- 緩和ケアを受けられる病院や相談先の情報提供

指標項目	現状値	目標値（H36）
滋賀県緩和ケア研修会修了者数の増加	597人（H20～H28）	1,000人

がん医療の充実と療養生活の質的向上に向けた主な取り組み

市民

治療や療養生活を自分で選択できるよう、必要な情報を収集します。

保健医療関係者

がん医療や緩和ケア、後遺症対策などの充実に向け、医師や専門職の確保に努めるとともに、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種連携に努めます。

事業者

従業員が治療を受けながら仕事が継続できるよう、制度の周知・啓発と活用の助言などに努めます。従業員や家族が治療と仕事を両立できるよう努めます。

教育関係者

がん患者が治療を受けながら学習が継続できるよう相談体制づくりに努めます。

地域団体

地域の社会資源、在宅医療及び緩和ケアについて情報収集に努め、必要な人に提供します。

市

在宅療養の仕組みや在宅看取りについての周知・啓発に努めます。緩和ケアを受けられることができる病院、相談先などの情報提供を行います。

4 がん患者とその家族への支援の充実

1 情報提供と相談支援の充実

施策の方向と主な成果指標

- がんに関する効果的な情報提供
- ピア・サポートの充実
- 相談窓口やがん患者サロンなどの情報提供の充実
- がん患者とその家族が相談しやすい体制づくり

指標項目	現状値	目標値 (H36)
がん相談支援センター等、がん患者相談支援機関における相談者件数の増加	1,842 件 (H27)	3,000 件

2 がん患者とその家族の生活支援

施策の方向と主な成果指標

- アピランスケアについての情報提供と支援
- 子育て中や介護中のがん患者等が安心して治療を受けられるための環境づくり
- 後遺症により生活に支障をきたしている患者の QOL の向上のための支援

指標項目	現状値	目標値 (H36)
アピランスケアについて情報提供をする機関の増加	4 か所 (H28)	7 か所

がん患者とその家族への支援の充実に向けた主な取り組み

市民

がん相談支援センターや地域の窓口を利用します。

保健医療関係者

がん相談支援センターやがん患者サロンと連携を図ります。
アピランスケアについての情報提供を行います。

事業者

がんになり患した従業員のサポートに努めます。

教育関係者

がん患者が治療と学習を両立する上での相談に応じます。

地域団体

がん相談支援センター等相談支援窓口の紹介あるいは相談支援の機能を担い、がん患者の安心へのサポートに努めます。
アピランスケアについての必要な情報を収集し、提供します。

市

がん相談支援センターや専門相談などの情報を一元化し、情報提供を行います。
アピランスケアについての必要な情報を収集し、提供します。

5 働く世代へのがん対策の充実

1 市内事業所及び保険者等との連携によるがん対策の充実

施策の方向と主な成果指標

- たばこの害やがんに関する情報提供
- 事業所及び保険者等との連携によるがん検診の実施やがん検診・精密検査の受診勧奨
- がん患者やその家族の就労継続に向けた情報提供と相談の充実
- 小規模事業所ががん検診に対して積極的に取り組める環境の整備

指標項目	現状値	目標値 (H36)
がん予防や検診受診促進のために取り組みを行っている事業所の割合の増加	47.5% (H28)	100%

働く世代へのがん対策の充実に向けた主な取り組み

市民

がん検診を継続的に受診し、がんの早期発見に努めます。
がん患者及びその家族が就労継続できるよう支え合います。

保健医療関係者

事業者や市と連携しながら、がん検診や精密検査を受けやすい環境づくりに努めます。
がん患者が治療と仕事の両立が可能となるよう、事業者の相談に応じます。

事業者

事業所内での受動喫煙防止の取り組みに努めます。
がん検診や精密検査を受けやすい環境づくりと受診勧奨に努めます。
治療と仕事の両立が可能となるよう、仕組みづくりに努めます。

教育関係者

がん患者を家族に持つ児童や生徒への支援に努めます。

地域団体

市や医療機関などと連携しながら、治療と仕事の両立が可能となるよう、相談支援に努めます。

市

受動喫煙防止に向けた周知・啓発を行います。
事業所及び保険者等との連携により、がん検診受診率の向上に努めます。

2月4日は 「大津市がんについて考える日」です。

大津市がん対策推進基本計画 【概要版】

平成 29 年 6 月

発行：大津市健康保険部保健所健康推進課
〒520-0047 大津市浜大津四丁目 1-1 明日都浜大津 2F
TEL：077-528-2748 FAX：077-523-1110